

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 5 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	服薬事故を未然に防ぐ為、服薬方法を見直す。	服薬に責任を持つ。	・服薬チェック表を新たに作成し、スタッフのサインを残す。・飲み終わるまでその場を離れない。・薬の空袋を決めた容器へ入れ最終確認をする。	3ヶ月
2	26	現状の介護・看護記録では身体状況と生活の様子が一目瞭然で把握できない。	緊急時誰もが対応できる記録にする。	・一枚の用紙に介護、看護、身体状況、生活の様子をまとめることで適切な対応ができる。・様式を改善する。	6ヶ月
3	25	活動の時間が少ない。	隠された脳力を発揮する。	・リハビリの時間を毎日数分間設けることを習慣づけて転倒などの事故防止へ繋げる。	6ヶ月
4	24	画一的なケアになっている。残された脳力が最大限活用できていない。	・生活力の改善。・混乱や不安の解消。	・普段の家庭生活に近い環境を提供して役割を持って頂く事で満足と自信へと繋げる。	6ヶ月
5	23	意欲の減退などから認知の進行が進んでいる。Q.O.Lの維持。	喜び、楽しみ、生きがいなどを日々感じながら生活して頂く。	・レクリエーションの充実。・マンネリ化しないような工夫をしていく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。